

# 佐藤家住宅・旧佐藤宗家等見学会

## 蚕種の里「上塩尻」まちあるき

### 実施記録&未来に向けて【概要版】



藤本蚕業デジタルコモンズ

<https://d-commons.net/fujimoto-dc/>

ネットで御覧いただけます

令和4年度長野県地域発元気づくり支援金事業  
「藤本蚕業資源活用事業」

佐藤家住宅・旧佐藤宗家等見学会 2022年10月29日(土)  
蚕種の里「上塩尻」まちあるき 2022年11月26日(土)

2023年3月31日

藤本蚕業プロジェクト

(事務局：長野大学前川道博研究室)

# 1. 佐藤家住宅(三ツ引)・旧佐藤宗家の今昔

## 【1】佐藤家住宅（三ツ引）



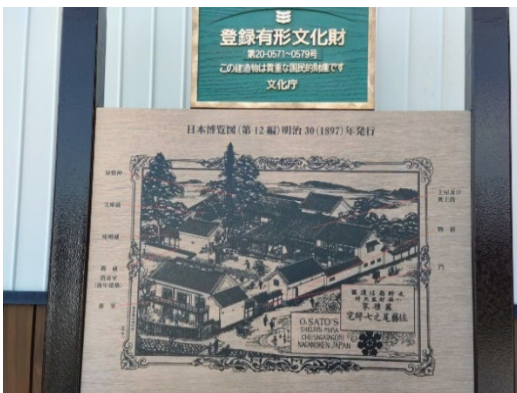
▲1897年 佐藤尾之七邸宅



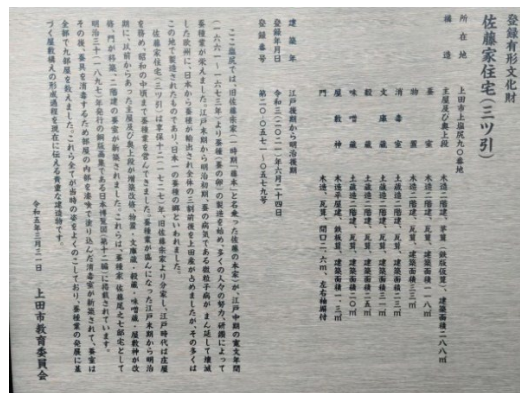
▲2022年 10/29 見学会の風景

佐藤家住宅(三ツ引) (旧佐藤尾之七(さとうおのしち)邸宅) は、江戸時代から上塩尻村 (現在の上田市上塩尻) で代々蚕種製造業を営んできた佐藤本家の分家に当たる。1727(享保12)年、本家から分家し六代嘉平次を襲名して上塩尻村の庄屋を営んでいた。尾之七は佐藤本家の当主であった藤本善右衛門縄葛(つなね 1815-1890)の四男で、分家の佐藤嘉平次家の養子となった。尾之七は1908年、佐藤本家を宗家とする佐藤一族が共同出資して発足させた藤本蚕業合名会社の設立に中心的に関わった。大正期、上田蚕種株式会社の社長となり、蚕種業界の中心人物として活躍した。

図版と説明文は「みんなでつくる信州上田デジタルマップ／信州上田学アーカイブ」から転載した。<https://d-commons.net/uedagaku/detail.php?id=3080>

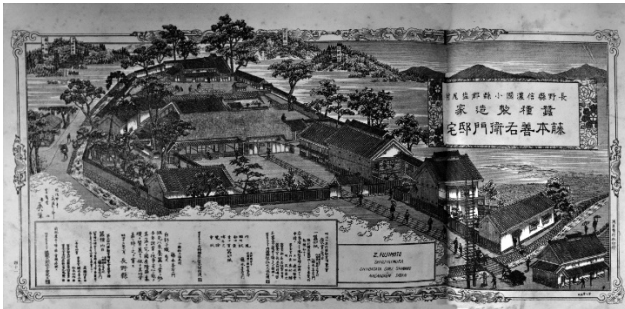


▲登録有形文化財のプレート(2023年)



▲上田市教育委員会による説明板(2023年)

## 【2】旧佐藤宗家



▲1897年 藤本善右衛門邸宅



▲2022年 10/29 見学会の風景

藤本善右衛門(ふじもとぜんえもん)は江戸時代から上塩尻村(現在の信州上田市上塩尻)で代々蚕種製造業を営んできた佐藤本家当主の世襲名である。昌信(まさのぶ 1773-1822)に始まり、保右(やすすけ 1793-1865)、縄葛(つなね 1815-1890)、信汎(のぶひろ 1850-1905)が藤本善右衛門を襲名した。

「藤本善右衛門邸宅」は、佐藤本家の邸宅である。佐藤本家は「藤本」を屋号としていた。1897年当時の当主は信汎(のぶひろ、1850~1905)である。

邸宅跡は現在は更地となったが、薬井門(1932頃再建)、外塀、蚕室2棟が残っている。図版と説明文は「みんなでつくる信州上田デジタルマップ/信州上田学アーカイブ」から転載した。

<https://d-commons.net/uedagaku/archive1?c=&p=3078>



▲旧佐藤宗家の蚕室(佐藤家住宅の向い)



▲埋薪(まいしん)と呼ばれる暖房設備

## 2. 佐藤家住宅等見学会 2022/10/29 実施



10/29(土)、藤本蚕業プロジェクトによる佐藤家住宅等見学会を実施しました。見学した建物は佐藤家住宅(三ツ引)[国登録有形文化財]、旧佐藤宗家の敷地跡、蚕室2棟です。14:00から16:00過ぎまでたっぷり約2時間、これらの建造物を調査された信州大学の梅干野成央先生、勝亦達夫先生の解説をいただきながら見学をしました。



▲主屋



▲奥上段



▲門



▲蚕室



▲物置



▲消毒室



▲穀蔵



▲屋敷神（稻荷神）と石垣

### 3. 蚕種の里『上塩尻』まちあるき 2022/11/26 実施



11/26(土)、藤本蚕業プロジェクト主催による「蚕種の里『上塩尻』まちあるき」を実施しました。上塩尻のまちあるきは藤本蚕業プロジェクト発足以前から地域探訪等の目的でこれまで何度となく実施されてきました。今回のまちあるきは「佐藤家住宅(三ツ引)」が国登録有形文化財に登録されてから実質的に最初のまちあるきです。地元上塩尻の住民の方々と参加者それぞれが途中途中解説をしながら、または参加者どうしで対話をしながら上塩尻をめぐるしました。



#### 【蚕種製造民家】

上塩尻には蚕種製造を営んでいた屋敷の多くが現在も残っています。その特色は2階建てであること、建物が細長く大きいこと、2階の屋根の上に越屋根（小さな屋根）が備わっていることなどです。古い建物をリフォームして現代においても住環境として活用するこの地域の知恵にも感心させられます。



## 【家々の庭】

上塩尻まちあるきで訪問できた蚕種製造民家の家々に共通することは、立派な庭を備えていること。母屋は蚕種製造に適した蚕室を備えているため、大きく細長い構造をしている点に特色があります。その前面には庭があり、母屋の構造に沿う形で細長く庭が広がっています。



## 【〇〇小路】

上塩尻は北国街道をメインストリートとし、集落内にいくつもの小路(細い道筋)が通っています。地元の人はこれらの小路に名前を付け区別して呼んでいます。

★馬場小路 ★寺小路 ★毘沙門小路 ★広小路  
★岩井小路 ★山小路



## 【北国街道】

上塩尻の中心部である大村は北国改造に沿って集落が展開しています。上塩尻は千曲川に面し、洪水の常襲地でもありました。洪水に見舞われた集落が太郎山系の裾野に移ったとも伝えられています。上塩尻の蚕種製造民家で構成される集落は極めてめずらしい。おそらく全国でここだけではないでしょうか。



## 【石垣】

上塩尻まちあるきで改めて参加者が注目したのが見事な石垣群です。上塩尻の大村は北国街道に沿い、山麓の傾斜地に位置しています。傾斜地に展開する家々には段差があり、それぞれの家々はお城の石垣を思わせるような見事な石垣が築かれています。蔵の土台などにも礎石があり、それぞれに特徴があります。



### 【猫瓦】

上塩尻の家々に特徴的に存在しているものに「猫瓦」があります。それぞれの家々で蚕種製造や養蚕を営んでいた各家の屋根や塀の瓦には、ネコを表徴した瓦があります。蚕の天敵であるネズミの侵入を防ぐという意味がありました。まちあるきをしながら猫瓦を見つけるたび、参加者が猫瓦を写真に収めていました。



### 【モリス先生と一緒に】

建築史学のマーティン・モリス先生（千葉大学名誉教授）をお迎えし、古建築の保全・活用に関するレクチャーもしていただきました。上塩尻では「佐藤家住宅(三ツ引)」が2021年、初めて国登録有形文化財となりました。これを機会に、地域づくりに活かされていくことを願いたいものです。

---

令和4年度長野県地域発元気づくり支援金事業「藤本蚕業資源活用事業」  
佐藤家住宅・旧佐藤宗家等見学会／蚕種の里「上塩尻」まちあるき  
実施記録&未来に向けて【概要版】

【発行日】2023年3月31日

【編集・発行】藤本蚕業プロジェクト（代表：前川道博）

【事務局】長野大学前川道博研究室

〒386-1298 長野県上田市下之郷 658-1

TEL 090-22270-5074 メール [maekawa@nagano.ac.jp](mailto:maekawa@nagano.ac.jp)

【ウェブサイト】藤本蚕業デジタルコモンズ

<https://d-commons.net/fujimoto-dc/>

